

今週のセルグループ(赤字)		3月7日(日)~3月13日(土)	
セル(リーダー)	次回の日時	場所	前回の証しなど
リバイバル北山姉	3/7(日) 礼拝後	LINE 電話	2/28 2名 主が私の傷ついた過去に遡って現場にいて癒して下さると教えられました。
グレイス鈴木千姉	3/12(金) 午後8:30	交わり	2/26 3名 最終的には家庭の回復を望んでいる。神様に目を向けることで癒やされている。
Gospel鈴木尚姉	未定		2/21 2名 イエス様と一緒に過去に戻って、今癒してくださる。
オイコス磯貝姉		LINEで分かち合い	2/28 9名 主は聖なるお方であるから、癒されるには憎しみや怒りをすてなければならない
からし種磯貝姉	3/18(木) 午前10:00	Zoomで分かち合い	2/25 4名 癒しを受け取りました。心がすーっと軽くなりました。
ユース岩下兄	3/14(日) 午後1:00	LINEで分かち合い	2/21 5名 忍耐を持って聞くことができていなかった。あわれみの目を持って聞くことをしたい。
Rock鈴木洋兄	3/17(水) 午後8:30	鈴木宅	2/17 4名 神様に頼らず、自分で考え始める癖がある。
シャローム平岩姉	3/13(土) 午前10:00	平岩宅	2/28 3名 交わりの時をもちました。
なつめやし高橋智姉	3/14(日) 午後3:00	高橋宅	2/28 5名 主の期待に応える行動を、人に対して、会社に対してしていきたい。
リジョイス杉本姉	3/16(火) 午前10:15	交わり	2/25 4名 元々は素直ではなかったが、信じる信仰を持たせていただいたのは感謝でしかない。
ジョイフル穂苅兄	3/18(木) 午後9:00	Zoomで分かち合い	2/18 4名 赦してやっているという思いがあって悔い改めました。
アガベ長塚姉	3/7(日) 礼拝後	コミュニティセンター	2/28 4名 やっとたどり着けた。と喜んでいました。救われた事を喜び合いました。
サクセス鈴木勝兄	3/14(日) 礼拝後	コミュニティセンター	2/28 11名 諦めていたけど知らないうちに病が癒されていたのに神様に感謝していないと気づいた。
リーダーズセル	3/10(水) 午後7:00	Zoomで分かち合い	2/10 22名 今週です。
セル研修	休講		
ビジョン平岩恵兄	3/7(日) 午後1:00	コメダ	2/28 3名 交わりが苦手だったけれど、今は交わりを楽しみたいという思いに変えられ癒されています。
worship長塚寛兄	中止		
高校生平岩姉	中止		
中学生梅田姉	3/7(日) 午後0:30	LINEで分かち合い	2/28 3名 <b>セルリーダーのためにお祈りください。</b>
キッズ2小山姉	中止		
キッズ1芳井姉	中止		
Shine小原姉	3/14(日) 午後3:00	エステル	2/28 3名 「全てが一番よいこと」だと教えられイエス様に感謝です！
ギデオン芳井兄	3/13(土) 午後6:30	芳井宅	2/27 4名 <b>セルリーダーのためにお祈りください。</b>
カルバリ野田兄	3/16(火) 午前9:00	野田宅	2/16 6名 赦してもらいたいと思い、赦しを受け取ることが出来ました。
神の家族伊岐見真姉	3/13(土) 午後7:30	LINE 電話	3/1 2名 自分がかわいそうと思ってきたことを、悔い改めることができ、平安をいただいた。


礼拝奉仕		聖日礼拝		祈禱会	
		司会	奏楽	奏楽	
今週	3/7(日)	大高愛姉	鈴木尚姉	3/11(木)	鈴木千姉
		開始時間 午前10時			
来週	3/14(日)	大高愛姉	鈴木千姉	3/18(木)	鈴木尚姉
		開始時間 午前10時			

※ 日曜礼拝バイブルスタディが始まっています。(8回連続)  
 開始時間 午後1時 場所 会堂  
 受講者には係から直接連絡があります。 祝福をお祈りください。

### 祈りの課題

- 人々の救いを覚えて
  - 家族知人をキリストへ
  - 教会近隣の人々の救い
  - 東海地方の救いのために
  - 日本の救いのために
  - 世界の救いのために
- 働きを覚えて
  - バイブルスタディの働き
  - リバイバルクワイヤーの働き
  - リバイバルマズの働き
  - 那古野アウトリーチの働き
  - 祈禱会の祝福
  - 日曜礼拝の祝福
  - 牧師の働き
- ギデオン協会の働きのために
- セルグループの祝福
  - LTG人生変革グループの祝福
- プレーヤーハウス獲得のために

聖日礼拝 (日曜)	(第一) 午前 9:00~10:30 (第二) 午前11:00~12:30
キッズセル(子供礼拝) (日曜)	午前 9:00~10:30
日曜礼拝バイブルスタディ (日曜)	午前11:00~12:30 ☆第一礼拝に出席してから、ご参加下さい。
バイブルスタディ (第1、第3火曜)	(昼) 午後 1:00~ 2:30 (夜) 午後 7:00~ 8:30
祈禱会 (木曜)	午後 7:00~ 8:30
特別早天祈禱 (土曜)	午前 6:00~ 7:00



# 主の御手 週報 NO.1337

2021年3月7日(日)発行 3月第1週

私たちのビジョン [宣教] 主の御手が彼らとともにあったので、(使徒の働き11:21) 大ぜいの人々が信じて主に立ち返った。

## 日曜礼拝

開始 10時

- 讃美
- 祈り
- 聖書交読 (司会者と交互に全員で読みます。)
- 讃美
- 祈り (祈りの姿勢をおとり下さい。)
- メッセージ
- 祈り
- 神への感謝 (集会感謝の献金があります。ご意志で自由にどうぞ。)
- 主の祈り (初めてのの方はスクリーンをご覧ください。)
- 連絡


**お願い**

(1) 礼拝後は、必ずコイノニアルームなど、室内にお入りください。道路上にとどまることがないようにお願いします。

(2) また、必ず一度は、コイノニアルームに立ち寄りをお願いします。重要なお知らせなどがあります。

**今年のテーマ** 私たちが神を愛したのではなく、神が私たちを愛し、私たちの罪のために、宥めのささげ物としての御子を遣わされました。ここに愛があるのです。(ヨハネの手紙 第一 4章10節)

## 日曜日は教会へ



主の御手がともにある  
**名古屋バイブルチャーチ**  
 〒451-0042 名古屋市西区那古野2-20-19  
 TEL 052-587-5060 FAX 052-587-5061 牧師 中西幸輝



「ローマ10：9-10  
なぜなら、もしあなた  
の口でイエスを主  
と告白し、あなたの  
心で神はイエスを死  
者の中からよみがえ  
らせたと信じるなら、  
あなたは救われる  
からです。人は心に  
信じて義と認められ、  
口で告白して救

われるのです。」

## 明日死んでもいいために

新聞の広告欄に「明日死んでもいいための44のレッスン」という本を見つけました。著者は年配の元女性アナウンサーで、突然やってくる死に備えてご自分が実践されている44のことを紹介した本でした。同欄にその44項目が全部書いてあったので、好奇心でチェックしてみると、「自分を証明するものを持ち歩く」、「自分の死を知らせる連絡リストを作る」、などという実用的なものから、「うまいものを食う」、「『もう年だから』といわない」、「完璧主義をやめる」、「若い友達を持つ」などの生活の知恵まで、著者なりの人生観をあらわした44項目でした。読みながら、もしクリスチャンが同じようなリストを作るなら「イエ

ス・キリストを信じる」が一番はじめに挙がるだろうな、と思いました。

## 瀕死の中で

「神は死んだのか」という映画の終盤で、無神論者の教授が、雨の中横断歩道で車にはねられるシーンがあります。ちょうどその信号で止まっていた牧師が車から出て来て、血を流し瀕死で倒れている彼に駆け寄り、「イエス・キリストを信じているか。」と問い、迫ります。教授は「私は無神論者だ。」と言いますが、牧師は「私がここに居合わせたのは、神のあわれみだ。イエス・キリストを信じるのか」と迫るのです。教授は若い時に母親と死別していて、どんなに祈っても母親を助けてくれなかった神様を恨んでいました。牧師は「神には神の理由があるんだ」と諭します。すると彼は「天が地よりも高いように、わたしの道は、あなたがたの道よりも高く・・・」とイザヤ書(55：9)のみことばを口走り始めます。母親が亡くなるまでは、きっと熱心なクリスチャンだったのでしょ。彼は牧師のさらなる迫りに応答し、「神を信じるよ」と告白します。死を恐れる彼に牧師は、「大丈夫だ。あなたはここにいる誰よりも早く神に会える。」と励まし、教授は息を引き取ります。(クリスチャンであれば)ほっと

胸をなでおろす瞬間です。たとえ死の間際であっても、イエス・キリストを信じれば、誰でも天国へ行くことができるのです。

## 死を恐れる

人は死を恐れます。それは死んだらどうなるかわからないからです。もし死というものがなかったら、人の悩みの多くは解決するのではないのでしょうか。ある年配の人に福音を伝えている時、「死んだらどうなると思いますか」と尋ねると、「そんなことは考えたこともない。」と答えられました。死は誰にでも必ず訪れるものなのに、多くの人は死について考えようとはしません。死をなんとなく恐ろしいものと感じていて、はっきり知るのが怖いということなのかもしれません。

死について考えることを避けるのではなく、積極的に向かい合おうということで、十年ほど前から「終活」ということばが流行し、実践をする人が増えてきました。自分が生きているうちに、死の準備をするということです。資産、医療や介護のこと、お墓の準備などのほかに、葬儀を自分の希望通りにしてもらおうよう葬儀屋に予約しておくこともできるようです。また、残りの人生を自分らしく、よりよく生きよう、と考える人が増えて、その類の本も多く読まれています。冒頭の本もその一つです。しかし、どんなに残された家族のためを思って一生懸命準備をしても、自分

らしく充実した老後を送ったとしても、死への恐れが解消されるわけではありません。天国に行くことができなければ空しいことです。

## 本当の終活

本当に必要な終活は、イエス・キリストを信じて、永遠のいのちをいただくことです。それは、ただ「イエス・キリストを主と告白する」ことです。人は生まれながらの罪人であり、滅びることが決まっています。聖書には「罪の報酬は死です。(ローマ6：23)」とあります。人が死を恐れるのはこのことを何となく察しているからです。人は神に造られた者だからです。造り主であられる真の神様は聖いお方ですから、罪ある者を受け入れることができません。天国へ行くことができないのです。しかし神様は人を愛し、滅びることのないように、イエス・キリストを人の罪の身代わりとして十字架につけてくださいました。そして信じる者の罪を一つ残らず赦してくださいまして、天国へ行くことができるようにしてくださいました。これが良き知らせ、福音です。すべての人が福音を聞かなければなりません。私たちの周りの愛する人々に、イエス・キリストを伝えて参りましょう。